

プロジェクト名	私の夏休み
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2、 「リスニングとスピーキング」 A2～B1
期間	授業の後半 30 分を 2 回+2 週間後に提出する宿題
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（夏休み明け頃から実施可能）
計画面 <small>（課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 2 週間後をめどに、自分の夏休みの体験について書いて 200 語程度の分量のまとまった流れのある作文を書き、LMS に投稿する。その際、画像ファイルがあれば、それも付ける。</p> <p>目的 : 1) すでに習った「話し言葉における過去表現」（一般動詞の場合は現在完了形、sein/ haben/ 話法の助動詞の場合は過去形）を使って自分の体験した過去の出来事をまとまった形で表現・報告できるようになる。(A2 レベルの writing)、 2) 時間に関わる副詞 (heute/ gestern/ gerade) や副詞句 (heute Morgen/ gestern Abend/ letzte Woche/ um 2 Uhr/ am Sonntag/ im August/ zwei Stunden/ drei Tagen/ vier Wochen/ einen Monat/ vom Morgen bis zum Abend, von 3 bis 6 Uhr 等) を使えるようになる。 3) 交通手段に関わる名詞の使い方 (mit dem Bus/ Auto/ Zug/ Taxi/ Schiff, mit der Fähre/ Bahn) や移動に関わる動詞 (gehen/ fahren/ fliegen/ abfahren/ ankommen/ umsteigen 等) とその完了形の使い方に慣れる。</p> <p>利用可能なツール : 学生：スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSM3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook, Bb9, moodle 等)。</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等ができれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、SNS を限定公開モードで使う。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備 : 1) 「話し言葉における過去表現」と時間に関わる副詞 (句) については、扱っておく。</p>

- ① 第1週：A4サイズの上半分の部分に教員がどんな夏休みを過ごしたかを書いたペーパーを配り、クラス全体でそれを読んで、内容を理解する。さらに、そのテキストの構造の分析をクラス全体でする。ちなみに、上記ペーパーには、まず、sein の過去形を使って、「いつからいつまで〇〇にいた」という形式で、「〇〇に行ってきた」ということを表現し、その後、そこで誰と何をしたかを発展させる形で書き、最後に gefallen を使って「××はとても気に入った」というようなことが書いてある。これらの構造を確認後、その形式をまねして、それぞれの夏休みの体験について簡単な作文をし、4～6人のグループでお互いに紹介しあう。
- ② 教員は、「〇〇へ行った」という表現形式として、sein/ gehen/ fahren/ besuchen などがあることとその使い方には違いがあることをテーマとして取り上げる。また、観光するというときに使う動詞 besuchen/ besichtigen/ sehen の違いと使い方、観光名所に関する名詞（Sehenswürdigkeiten/ Tempel/ Schinto-Schrein/ Schloss/ Burg/ Fernsehturm/ Aquarium/ Tokyo Disneyland/ Edo-Tokyo-Museum 等）なども扱う。さらに学生に典型的な夏休みの活動に関わる表現（die Fahrschule besuchen/ den Führerschein machen/ an einem Tennis-Turnier teilnehmen/ einen Judo-Wettkampf gewinnen/ in einem Baseball-Wettbewerb das Pokal gewinnen/ an einem Trainingslager teilnehmen 等）も扱う。
- ③ 夏休みの体験について、2つ程度のトピックを盛り込み、どこへ行って誰と何をし、どうだったかをまとめた形で書いて学習管理システム（LMS）のフォーラム欄に2週間以内に投稿するという課題を説明する。
- ④ 作文の際には、原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。
- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付ける。
 - ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるか確認してから使う。
- ⑥ 第2週：学生は、4人～6人のグループ作業で、宿題として書いてきた紹介文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。
- ⑦ 直した作品は、LMS の Forum ページに投稿する。次の課題として、投稿された他人の文を読んで、共感した作品を2つ選び、その作品の投稿者に対し、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。なお

	<p>自分の作品に対して書き込まれたコメントや寄せられた質問に対しては、必ず再コメントや質問されたことへの答を書く。</p> <p>これ以降は、追加的な課題。たとえば冬休みの体験をテーマとした作文プロジェクトを1年間の学習の集大成として本格的に実施する場合は、以下のステップも行う。</p> <p>⑧ 教員は、音声読み上げソフトの使い方を実際にデモしながら、学生に使わせ、自分達の書いた作文のドイツ語模範音声を聞かせる。その際、日本語の名前や表現は、あらかじめ、同種のドイツ語表現に変えておくと全体をなめらかに読見上げてくれるなどの裏技も教えておく。</p> <p>⑥ 宿題として、自分の書いた休み中の体験を、スマートフォンを使って録音する。録音した音声は別途 LMS に投稿する。投稿された音声は、発音に問題がある場合は個別に指導する。</p> <p>⑦ 最後に「私の冬休み」等と題した LMS の Forum ページにテキストと音声の両方を投稿する。</p>
<p>ポイント</p>	<p>1) 本プロジェクトの前に「話し言葉における過去表現」と過去について語るために必要な副詞や時間表現はあらかじめ導入しておく。なお、こうした項目については、課題遂行のために必要な語彙や文法として、課題の説明後にも改めて取り上げる。</p> <p>2) 文法的な大きな間違いも徐々に増えてくるので、学生が犯しやすい典型的な間違いについては、個々にあるいはクラス全体として取り上げ、最終的に残る作品に関してはそうした大きなミスがないものを残せるよう気をつける。</p> <p>3) 他人が読んで面白いと思ってくれる作品を書くよう指導することが重要。</p> <p>4) 録音の際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。</p> <p>5) 音声の録音方法や投稿の仕方などについては、あらかじめ簡単なマニュアルを作っておく方が、細かなミスによって生じかねない余分な労力を省ける。</p>

君の夏休みの体験を7つから8つ程度の簡単な文で書いてみよう。

Ich war im August zehn Tage in Berlin. Dort habe ich in einer Pension gewohnt. Ich habe jeden Tag eine Bratwurst oder einen Döner Kebab gegessen und oft Saxofon in einem Park in der Nähe gespielt. Einmal habe ich am Wochenende das



プロジェクトシート

Reichstagsgebäude besucht. Das hat mir sehr gut gefallen.

Im September bin ich dann nach China gereist. Dort habe ich zwei Wochen intensiv Chinesisch gelernt. Jetzt kann ich auch ein bisschen Chinesisch.

新出単語 : Döner Kebab: ドネルケバブ das Reichstagsgebäude: ドイツの国会議事堂